

就学援助費の 学用品補助が半額に

360万円削減

市ではこれまで市立小・中学校に在籍する児童・生徒保護者のうち、生活保護法に規定する要保護者とそれに準じる準要保護者のいわゆる低所得世帯について、就学援助費の学用品費として、小1／1万2610円、小2～6／1万4780円、中1／2万3880円、中2～3／2万6050円を援助していましたが、新年度予算からその額がいずれも半額になります。

市はこれにより360万円削減できるとし、その中の240万円を、高校生への奨学金の対象者を増やすことに充てるとしています。

横須賀倶楽部を

新たに設立

SNS活用しPR

市は、市外に在住する横須

賀出身者や所縁のある著名人らに登録してもらい組織する「横須賀倶楽部」を新たに設立します。

フェイスブック等SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用により本市に関する情報発信を活発化させ、横須賀をPRしていくことにより、横須賀をさまざまな面から応援してくれる人の輪を広げ、本市への観光集客、定住促進、企業誘致を目指すとしています。

入院診療再開を

求める決議案可決

市立市民病院

市は、平成26年4月から市立市民病院小児科の入院診療を休止し、市立うわまち病院に集約することを決定したが、西地区や近隣市町の子育て世代の方々に大きな不安を与えるばかりか、本市の「子育て世代に選ばれるまち」を掲げた定住促進策にも影響をおよぼすことが懸念される一方、同市民病院に小児科病床がないことは、



懸案であった分娩の再開も望めず、本市の周産期医療を含む小児科医療への影響が少なからずあることも考慮しなければならぬことから、市に対して「できるだけ早い時期に同市民病院における小児科の入院診療を再開できるように、小児科医師および産婦人科医師の確保に引き続き最大の努力をすること」を強く要望することを決議しました。

市営屋外プール

徐々に廃止へ

市が計画を提示

市内には市営の屋外プールが10か所、屋内プールが5か所ありますが、老朽化と経費削減のため、屋外の平作、田の浦、鴨居のプールは2～4年後に、湘南鷹取5丁目、久里浜、富浦は10～15年後に廃止される計画が市から示されました。プールのない学校の授業については、近くの学校や他のプールを利用するように協議していくとしています。

ありがとう横須賀

～雑感～

平成26年第1回定例会が終了しました。今定例会は、新年度の予算を決める定例会であり、結果、1期目を合わせて5回目となる吉田市政での当初予算案で、2度目の原案通り可決となりました。

定例会では、やはり最重要課題の人口減少の歯止めについて質問

が集中しました。市長は、それに対して「強い危機感をもって臨む」とし、「子育て・教育環境の充実」「生涯現役社会の実現」「地域経済の活性化」の3点を重点施策に掲げています。

私も予算案には賛成しましたが、やはり以前から訴えている思い切った施策による予算の使い方は今回も見られませんでした。

今後今いる方の暮らしやすさを第一に考え、取組んでいきます。

大野忠之へのご期待・ご要望・ご意見などをお寄せ下さい。 FAX : 046-838-6573

ご氏名

ご連絡先